
MOthers

証券コード

3773

2009年3月期第2四半期(中間)
決算説明会資料 2008年11月10日



Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

代表取締役社長 長谷川 一行

取締役 経営企画部長 吉田 一也

<見通しに関する注意事項>

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。

その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因等により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

2009年3月期第2四半期実績

2009年3月期第2四半期ハイライト(連結)

Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

<売上・利益の状況>

単位:百万円

	09年3月期 4-9月	08年3月期 4-9月	対前年 比	参考) 08年3月期 4-9月(単体)	参考) 対前年 単体比	年初計画
売上	497	1,253	-60.3%	605	-17.9%	610
売上総利益	279	336	-17.0%	126	121.4%	-
粗利率	56.1%	26.8%	-	20.8%	-	-
営業利益	▲ 358	▲ 906	-	▲ 752	-	▲ 368
経常利益	▲ 340	▲ 863	-	▲ 740	-	▲ 370
当期純利益	▲ 295	▲ 2,472	-	▲ 2,481	-	▲ 373
無形固定資産の 取得による支出	▲ 76	▲ 231	-	-	-	-
減価償却費	65	184	-	-	-	-

■売上高: 売上高の大幅減の要因は、経営改善計画に基づくグループ会社整理による。

音声事業の売上は、サブプライムローン問題に端を発する景気低迷の影響により、コアドメインのひとつである金融機関向けコールセンタ関連の受注が遅延、また医療部門においても医事法改正オンライン請求義務化による手控えの影響を受け伸び悩む

■売上総利益: 「経営改善計画」の実行により大幅に利益率が改善

連結損益計算書(P/L)比較

(単位:百万円)

ハイライト

	09年3月期 4-9月	08年3月期 4-9月	連結比 増減	参考) 08年3月期 4-9月(単体)	参考) 単体比 増減
売上	497	1,253	▲ 756	605	▲ 108
原価	217	917	▲ 700	478	▲ 261
売上総利益	279	336	▲ 57	126	153
販売管理費	638	1,243	▲ 605	878	▲ 240
研究開発費	105	75	30	75	30
営業利益	▲ 358	▲ 906	548	▲ 752	394
利益率	-72.0%	-72.3%	-	-124.3%	-
経常利益	▲ 340	▲ 863	523	▲ 740	400
利益率	-68.4%	-68.9%	-	-122.3%	-
当期純利益	▲ 295	▲ 2,472	2,177	▲ 2,481	2,186
利益率	-59.4%	-197.3%	-	-410.1%	-
総人件費	388	-	-	466	▲ 78

・売上高の前年比大幅減の要因は、グループ会社整理によるもの。音声事業の売上は前年の一過性の機器販売分を除くと3%増

・ライセンス収入増加および原価低減により売上総利益は大幅に改善

・人件費、地代家賃や販売促進費などの固定費削減効果

◆原価率の低減(対売上比)

	08年3月期	09年3月期
・ソフトウェア償却費	31.2%*	8.3%
・人件費	10.3%*	9.3%

◆固定費の削減

・総人件費	前年同期比17%減少
・地代家賃	前年同期比30%減少

*前年における一過性の機器販売分を除く売上高で算出

連結貸借対照表(B/S)比較

(単位:百万円)

ハイライト

	09年3月期 第2四半期末	08年3月期末	連結比 増減	参考) 08年3月期末 (単体)	参考) 単体比 増減
流動資産	1,851	2,137	▲ 286	1,513	338
固定資産	503	580	▲ 77	1,079	▲ 576
資産合計	2,354	2,717	▲ 363	2,593	▲ 239
流動負債	231	609	▲ 378	368	▲ 137
固定負債	0	27	▲ 27	2	▲ 2
負債合計	231	637	▲ 406	370	▲ 139
資本金	4,377	4,198	179	4,198	179
純資産合計	2,123	2,080	43	2,222	▲ 99
負債純資産合計	2,354	2,717	▲ 363	2,593	▲ 239

・グループ会社整理により売掛債権の減少

・グループ会社整理により買掛債務および未払金の減少

・有利子負債ゼロ

・新株予約権の行使による増加(357百万円、資本準備金含む)

連結キャッシュフロー計算書(C/F)比較

(単位:百万円)

	09年3月期 4-9月	08年3月期 4-9月	連結比 増減
営業活動による キャッシュ・フロー	▲ 313	▲ 444	131
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 31	64	▲ 95
財務活動による キャッシュ・フロー	353	▲ 60	413
現金および現金同等物 に係る換算差額	5	13	▲ 8
現金および現金同等物 の増減額	14	▲ 426	440
現金および現金同等物 の期末残高	1,551	1,298	253

ハイライト

- ・収益改善による
- ・ソフトウェアの取得、
敷金返金、子会社
株式売却
- ・新株予約権の行使
(新株発行)による収入
(353百万円)

分野別売上実績

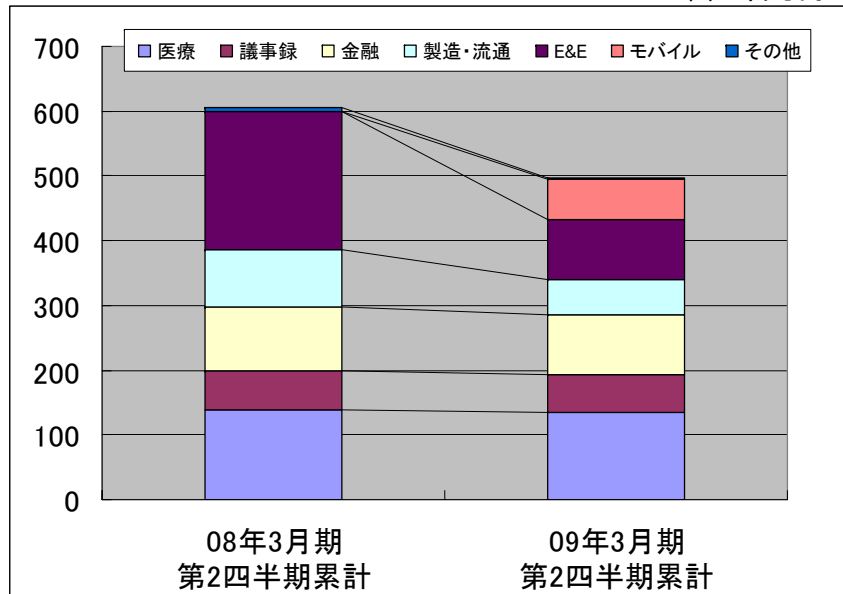
■ 分野別売上高推移

注)アドバンスト・メディア単体ベース

単位:百万円

		09年3月期 4-9月	08年3月期 4-9月
プロダクト 事業	医療	192	199
	議事録		
ソリューション 事業	金融	301	400
	製造・流通		
	E&E		
	モバイル		

単位:百万円



【実績ハイライト】

E&E分野における前年の一過性の機器販売分を除くと、3%ではあるが前年を上回る売上達成

■プロダクト事業

- ・医療、議事録ともに前年並みの売上で着地。
- ・医事法改正、オンライン請求義務化による手控えの影響を受け目標には届かず。

■ソリューション事業

・金融ならびにその他産業分野においては、コンプライアンス重視の気運から引き続き引き合い案件は多いが、サブプライムの影響大、受注遅延発生

・E&E分野における前年の一過性の機器販売の実績が大きく影響し、前年割れに。(前年の一過性の機器販売の売上を除くと前年を上回る売上に)

・モバイルは「らくらくホン プレミアム」「らくらくホンV」に当社DSR(分散型音声認識技術)が搭載されライセンス収入が伸びる

分野別上期概況と下期プラン

市場化の現状

音声認識は、一般企業の事業効率向上手段として、真の実用化段階に！
AmiVoiceは、着実にいろいろな場面において、生活の中に浸透しています。



2700ユーザ
以上導入
累計8500ライ
センス

放射線／病理画像レポート、電
子カルテ(大病院、診療所、歯
科クリニック)、調剤・薬剤等



次世代コールセンターソリュー
ション／オペレータ支援、モニ
タリング、通話録音書起こし、
注意事項説明、IVR

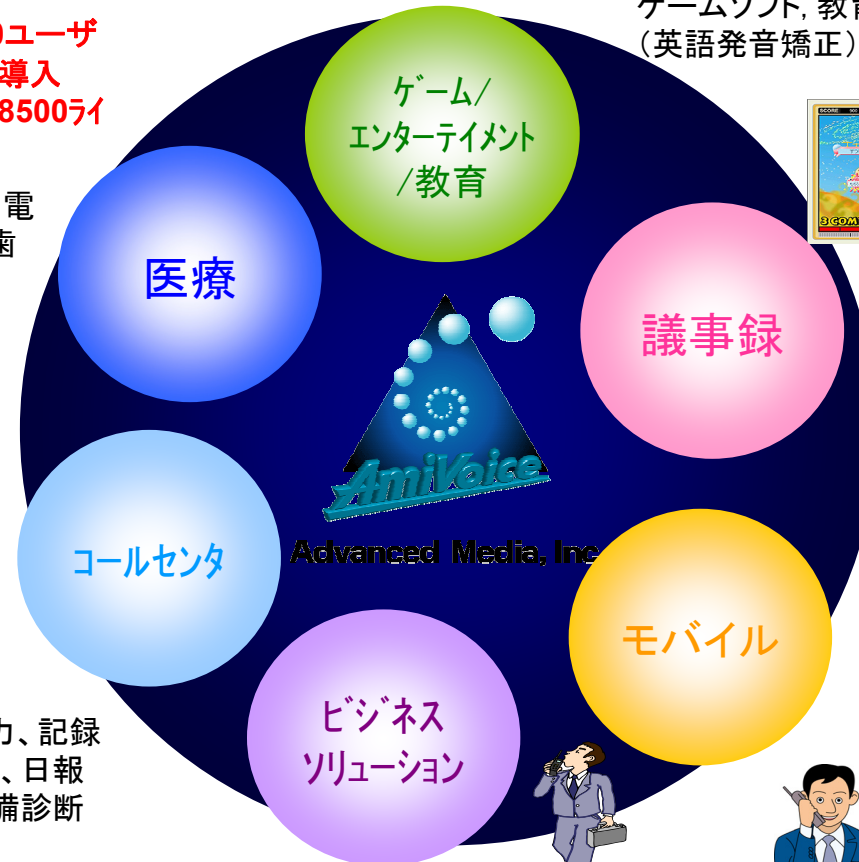


データ入出力、記録
・作業報告、日報
・点検、設備診断
顧客対応

・電話番号自動案内(内外線)
・受付案内

金融・産業ユーザ 約320社
3700ライセンス

声紋認証、株主総会等支援、
コンプライアンス対応等



ゲームソフト、教育ソフト
(英語発音矯正) 累計252000ライセンス



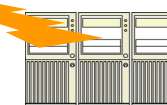
議事録

議会議事録作成
講義、講演録作成

自治体、民間
累計ユーザ数 50
1200ライセンス

モバイル

携帯DSRによる一般消
費者向けモバイルサー
ビス
音声入力メール、乗換
え案内、地図検索、
ゲーム



上期概況

- 医事法改正、オンライン請求義務化の影響を受け実績は横ばい
- 大手生保に診断書入力支援システムの追加導入に成功
- 電子カルテ音声入力システム

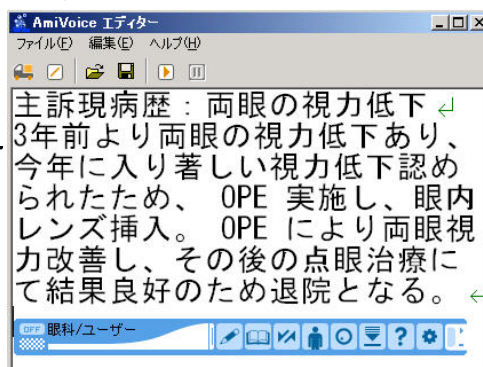
「**AmiVoice® Ex Opht**」(アミボイス イーエックス オフト)眼科向け

「**AmiVoice® Ex Orthopaedic**」(アミボイス イーエックス オーソペディック)整形外科向け
(7月発売)

→眼科、整形外科も顧客ターゲットに

【画面イメージ】

—AmiVoice® Ex Opht—



下期プラン

- 引き続き地域有力販売パートナーの開拓による売上拡大を図る
- パッケージ販売にとどまらない医療ビジネス向けトータルソリューションを提供し、案件の大規模化を目指す
- 「**AmiVoice® Ex**」シリーズのバージョンアップ(11月発売)
 - ユーザビリティの向上によるさらなる音声入力の普及

上期概況

➤実績は横ばい

➤導入実績

地方自治体向け5件(前年同期実績7件)

- ・愛知県豊田市
- ・東京都福生市
- ・福井県敦賀市
- ・福井県鯖江市
- ・佐賀県佐賀市

民間向け5件(前年同期実績3件)

→民間向けの新しいビジネスモデルでのアプローチ強化

下期プラン

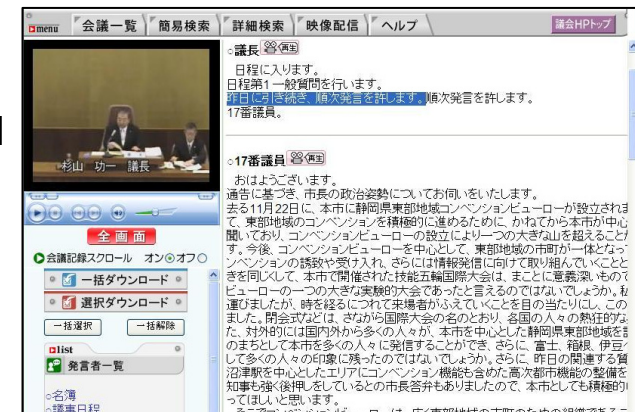
➤地域有力販売パートナーの開拓による売上拡大を図る(公共、医療、教育機関)

➤映像配信と会議録を連動させた新たなソリューションも展開

→11月より某市議会で運用開始

情報公開の質を大幅に向上でき、今後の引き合いも期待できるプロジェクト例

【画面イメージ】



上期概況

➤コンプライアンス重視の気運の高まりから引き合いは多く営業案件は積み上がるも、サブプライムローン問題の深刻化による景気低迷の影響を受ける

→受注遅延、期ずれが発生

➤6月にCTIソフトウェアの世界的パイオニアであるジェネシス社(全世界に3,000社以上のコンタクトセンタの導入実績を持つ)と次世代IVRの分野で提携

➤9月にタイ子会社設立
(AMIVOICE THAI.Co., LTD.)

世界一難しいといわれるタイ語の音声認識エンジンを開発。現地での質の高いコールセンタソリューションの提供が可能に

→既に導入実績もあり顧客満足度も高い

下期プラン

➤コールセンタでのコンプライアンス重視や、サービス強化のニーズは金融以外でも強く、案件を確実に受注に結びつける

例) 日立ハイテクフィールディング(10月)

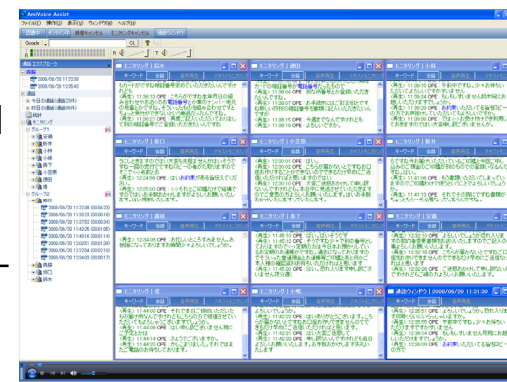
➤IVRベンダや、音声録音装置ベンダなど音声ビジネスベンダとの連携、営業強化

➤みずほ情報総研向けに音声認識保険テンプレートを開発、10月より提供開始

→パートナーとの連携強化、音声認識ソリューション提供のさらなる拡大

【画面イメージ】

—リアルタイム
モニター画面—



13

上期概況

- ベネッセのeラーニング講座「進研ゼミ中学講座+i」に**AmiVoice®**が採用(4月開始)
- プラト社の英語トレーニングシステム「えいご漬け バリンガシステム」に**AmiVoice®**が採用(6月発売)
- ジークレスト提供のゲームポータルサイト「アットゲームス」(登録ユーザ数73万人)の新コンテンツ「こえぺた」に音声入力ソリューションを提供(6月)
- 富士通製FOMA端末に当社のDSR(分散型音声認識技術)クライアント搭載
「らくらくホンプレミアム」(4月発売)
「らくらくホンV」(8月発売)
- NTTドコモ提供の「音声入力メール」がユーザーから好評を得て順調な立ち上がり

下期プラン

- 引き続き「英語発音矯正ソフト」の分野での**AmiVoice®**活用を促進
 - アデュー社発売の英語発音ソフト「UDA式発音PRO」に採用(11月)
- 留学生向け日本語発音矯正ソフトにも大きな注目、営業強化
- 「音声入力メール」技術をより広い市場へ適用推進
 - DSRから、携帯端末能力をより活かすHSR(ハイブリッド型音声認識技術)への展開
 - 企業向け営業支援システムなど適用範囲拡大
- iPhone向け開発強化、同時に自社でサービス提供も開始
 - 11月よりApp STOREにてアプリケーション提供開始

「音声入力メール」(NTTドコモのサービスへ提供)が SPOTY2008を受賞！(2008年10月)

販売実績や産業・社会へのインパクト等により、その年に注目を集めた日本発のソフトウェア・プロダクトとして選出される

携帯電話という小さなリソースで、不特定話者に対応した言語認識を実現し、バリアフリーでのメール利用に貢献している他、今後の海外展開も有望である点が評価された

何よりも本受賞は音声認識業界にとって未曾有でかつ画期的なことであり、これにより音声認識の市場への浸透に弾みがつくことが期待できる

SPOTY2008 (ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー®)とは

国内で流通している申請されたソフトウェア・プロダクトの中から、年間を通じて最も優秀なソフトウェア・プロダクトを、その年の「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー®」として表彰するもの。

経済産業省の外郭団体である独立行政法人・情報処理推進機構(略称:IPA、理事長:西垣浩司)が認定し、ソフトウェアの開発意欲を高め、良質なソフトウェア製品の供給の充実及び市場の拡大を促進することを目的とし、平成元年(1989年)に創設され、今年で20回目を迎える。

SPOTY 2008

Software Product Of The Year 2008 15

2009年3月期見通しと中期経営計画の進捗

2009年3月期見通し

Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

	09年3月期 4-9月	09年3月期 通期予想	参考) 08年3月期 連結実績	参考) 08年3月期 単体実績
売上	497	1,388	2,668	1,276
営業利益	▲ 358	▲ 730	▲ 1,295	▲ 1,177
経常利益	▲ 340	▲ 735	▲ 1,337	▲ 1,192
当期純利益	▲ 295	▲ 740	▲ 3,619	▲ 3,675

通期業績予想に変更はなく、連結通期の売上高は1,388百万円、経常損失は735百万円、当期純損失は740百万円を見込む。

経営改善計画への取り組み状況

堅実な売上増加と赤字体質からの脱却を目標に、平成19年9月28日付「経営改善計画」を発表し、実施してまいりました。当第2四半期連結累計期間中の成果ならびに現状は、以下のとおりです。

施策① 音声事業への集中

- 前期から実施した子会社清算、売却による主力音声事業への回帰
- 経営資源の集中によりコントロール可能な営業赤字レベルの達成

(単位:百万円)	09年3月期 4-9月 年初計画(連結)	09年3月期 4-9月 実績(連結)	09年3月期 通期予想 (連結)
当期純利益	-373	-295	-740

施策② 高利益率パッケージ製品売上比率向上

- プロダクト・ソリューション両事業部門の売上総利益率の大幅改善

	08年3月期 4-9月 実績(単体)	09年3月期 4-9月 実績(連結)	09年3月期 通期予想(連結)
売上総利益率	20.8%	56.1%	35.0%

施策③ 営業利益率の改善

- 総人件費の抑制、研究開発費などの販売管理費の削減
- オフィス移転による費用削減効果が奏功

	08年3月期 4-9月 実績(単体)	09年3月期 4-9月 実績(連結)	09年3月期 通期予想(連結)
営業利益率	-124.3%	-72.0%	-53.0%

施策④ 販売戦略の見直し、売上の確保

- パートナ戦略の再構築: 地域有力パートナー、業界有力パートナーとの提携
- 保守やサポート契約の徹底、サービス型ライセンス事業の強化

(単位:百万円)	08年3月期 4-9月 実績(単体)	09年3月期 4-9月 実績(連結)	09年3月期 通期予想(連結)
売上高	605	497	1,388

中期経営計画への取り組み

Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

フェーズ1 (2008年度～)

1. コアドメインの確立と拡大
 - 導入実績のある金融業界を中心としたコールセンタソリューション、医療機関向け電子カルテ入力システム、議会・企業向け議事録システムを中心に横展開を図り、安定した売上コアを確立する。
2. 収益力の向上
 - ソリューション事業において、原価率低減により収益力を高めながら、さらなる固定費の削減を追及する。

フェーズ2 (2008年度後半～2009年度)

3. 成長分野への挑戦によるコアドメインの拡大
 - 成長が期待できるモバイル分野や教育分野への拡大
4. サービス型ライセンス事業による安定収益モデルの確立
 - モバイル分野や教育分野でのサービス型ライセンス事業による新たな収益モデルの確立

フェーズ3 (2009年度後半～2010年度)

5. JUIビジネスモデルによる売上・収益モデルの確立
 - 一般消費者、企業向けのボイスを起点としたボイスデータサービス*や双方インタラクションサービス事業への挑戦

*声(ボイス)を文字(データ)化しコンピュータ処理できるようにするサービスです。基盤システムは声を一次処理する音声認識システムと人が高速に修正し高精度のデータを作成できるワークベンチで構成されます。

～革新的な音声認識によるインターフェース革命
人中心のコミュニケーションの実現へ～

～声が価値を生み出すサービス事業と
溢れる声をデータにするサービス事業へ～

お問合せは

株式会社アドバンスト・メディア

経営企画部 IRグループ まで

TEL:03-5958-1031

FAX:03-5958-1032